

キャッチコピーの部 最優秀賞

北嶋 彩乃さん 法学部政治学科1年

『塩狩峠』三浦綾子著 新潮社

人として生きていますか

キャッチコピーの部 最優秀賞

岡田 一真さん 経済学部経済経営学科4年

『柿の種』寺田寅彦著 岩波書店

“日常”からことばが溢れ出る

キャッチコピーの部 優秀賞

関 真利亜さん 文学部日本文学科4年

『妊娠カレンダー』小川洋子著 文藝春秋

あいと、あくいは似ている。

キャッチコピーの部 優秀賞

清水 健壮さん 法学部法律学科1年

『69 : Sixty nine』村上龍著 集英社

このどうしようもないあふれん
ばかりの17さいをみらいにと
どけるためだ

キャッチコピーの部 佳作

三田 紗江子さん 文学部現代社会学科 4 年

『怪物はささやく』

パトリック・ネス著；シヴォーン・ダウド原案；池田真紀子訳 東京創元社

つらくて、かなしくて、泣いていい

キャッチコピーの部 佳作

清水 健壮さん 法学部法律学科1年

『私とは何か：「個人」から「分人」へ』平野啓一郎著 講談社

「自分以外の人の前ではあんな
に明るいなんて、仮面被ってた、
ってこと？」——「分人」を知
るまではこう思うしかなかった

キャッチコピーの部 佳作

福島 多慧子さん 文学部英米文学科 4 年

『八日目の蟬』角田光代著 中央公論新社

誘拐犯と過ごした 4 年間。
それは母親に愛された
時間でした。

キャッチコピーの部 次点

関 真利亚さん 文学部日本文学科4年

『機械；春は馬車に乗って』横光利一著 新潮社

わたしと仕事、どっちが大事なの。